

## 各地区業況アンケート結果（2021年9月調査分）

（2021年9月27日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、9月26日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ75名の回答があり（回答率53.2%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI =  $(A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

### 1. 5割強の企業が前年同月比売上数量増

問1】貴社の8月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	25	13	16	10	10	74	74
比率	34%	18%	22%	13%	13%	DI+45	DI+49
売上金額/前年同月比	38	17	11	4	5	75	75
比率	51%	23%	14%	5%	7%	DI+105	DI+91

### 2. 赤字は2割弱

問2】貴社の8月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	27	21	11	10	4	73	75
比率	37%	29%	15%	14%	5%	DI+78	DI+92

### 3. 建設向けDI若干プラスに転じる

問3】貴社の営業窓口から見て9月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	11	35	8	2	57	+2	-7
民間建設向		19	29	10	2	60	+8	-14
自動車向	1	3	26	9	1	40	-15	-3
その他需要家向		18	34	6	2	60	+13	-5
仲間取引	1	16	26	15	4	62	-8	-28
計	3	67	150	48	11	279	+1	-12
比率	1%	24%	54%	17%	4%			

### 4. 秋需に多少の期待

問4】貴社における向う10月から12月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	9	32	22	8	3	74	71
比率	12%	43%	30%	11%	4%	DI+49	DI+46

## 5. 鋼板類の品薄感継続、コラムは入手難

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	品種別	A	B	C	D	E		9月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-4	0	-7	-10	-7	3	-3	-15	0	-3	-14	-9	3	鉄筋用丸鋼		1	25	4		30	-10
-17	-15	-16	-10	-11	0	-4	-11	8	4	4	14	25	構造用丸鋼		6	20	2		28	14
-14	-9	-13	-15	-6	-3	-3	-6	0	0	0	11	21	平角鋼		3	30	1		34	6
-4	-3	0	-3	20	12	21	3	-3	6	23	33	48	H形鋼	2	10	22			34	41
-33	-29	-21	-20	-13	0	12	19	14	24	83	125	140	コラム	15	9	1		1	26	142
-14	-12	-9	-15	-9	-6	-8	-5	-3	6	-6	3	8	小形山形鋼		4	29	1		34	9
-10	-12	-12	-14	-9	-6	-11	-11	-6	-3	-9	3	9	中形山形鋼		5	27	2		34	9
-18	-12	-13	-17	-13	-3	-11	-11	-6	3	-16	6	8	溝形鋼		6	24	3		33	9
-27	-17	-23	-16	-11	7	-7	-6	0	17	39	50	73	軽量形鋼C形	3	15	13			31	68
-25	-16	-26	-22	-11	5	-5	-5	0	14	17	39	63	軽量形鋼広巾	1	5	15			21	33
-58	-41	-3	10	35	108	127	132	148	158	162	166	158	冷延薄板	10	18	3			31	123
-54	-35	0	31	58	105	106	105	100	123	133	133	118	熱延薄板	6	23	5			34	103
-57	-34	13	23	34	114	145	139	134	161	163	162	145	表面処理鋼板	13	18	2			33	133
-67	-47	18	34	75	127	144	143	150	161	168	169	164	酸洗鋼板	13	18	4			35	126
-49	-22	15	18	49	89	93	84	95	104	116	113	114	中板	10	24	10			44	100
-52	-41	-8	-8	15	33	43	34	36	56	76	102	95	厚板	8	23	10	1		42	90
-42	-40	-11	-18	-9	0	10	22	24	39	67	70	86	極厚板	2	14	8	1		25	68
-24	-21	-10	0	0	6	19	26	13	45	43	64	41	縞板	2	11	16			29	52
-33	-26	-20	-15	-9	8	6	6	15	29	47	57	73	中径角	7	15	13			35	83
-23	-19	-23	-11	-3	-3	-6	0	12	19	32	42	58	ガス管黒	2	15	16			33	58
-19	-18	-18	-16	-6	-5	0	3	6	20	29	49	61	構造用鋼管	1	17	13			31	61
-31	-22	-8	-3	9	31	35	34	37	49	57	70	72	計	95	260	306	15	1	677	64

6. 需要は思ったほど回復せず継続的な値上げで与信不安も

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	(形鋼) 8月は営業日が少ない割に昨年より良かった。少しずつ物件が動いていると思われる。北海道の大型物件が決まり出しているが、材料手配に苦慮している。来年は供給面で悩ましい状況になると予想している。
	B	下期の丸棒需要は少なくなっていく傾向にある。価格は仕入高止まり、転嫁がなかなか浸透しない中で販売減、利益減少が懸念される。
	C	コラムやリロール品の入荷状況は非常に悪いが、出荷が低迷していて、さほどの逼迫感がないのが現状である。
東北	A	特段大きな変化はない。値上げの継続と板関連のタイト感に加え納期が延びる傾向。
	B	物件は少ない。予算は合わない。材料はない。コロナも収まらない。外にも出られない。ない物づくしである。
新潟	A	品薄状態が浸透したことで値上げも仕方なく受け入れて頂いている。
	B	薄板、フォーミング製品の値上げが止まらない。価格転嫁も1ヶ月に2、3回位はお客様に提示しないと価格が変わるため見積りには注意して対応したい。
	C	引合い見積り減少傾向。
	D	厚板(切板)の仕入高の割には販売価格が転嫁しにくい。前回時の続きの物件などと言われて安い価格が残っている。
	E	構造用鋼は9月帳破より今期2回目の値上げを目標としたが、一部10月にずれ込みそうである。その後、年内に3回目のお願いをすることになる。荷動きは出だしよくない。
	F	材料の入手が困難になってきた。値上げの前に材料の確保優先である。
	G	薄板需要は相変わらず高位で推移しているが、厚板需要は盛り上りに欠ける状態が続いている。ただ、供給面では品種を問わずタイトになっており、在庫は減少傾向。数量の確保と値上げ活動が主な仕事となっている。
神奈川	A	需要に関しては悪い感じは受けないが継続的に値上げを実施していることが先行し、信用問題が起きる予感。しかし、高炉メーカーは6万5千円の値上げでは終わらないので、状況をよく把握して行動しなければならない。
	B	公共建設、民間建設の受注が戻ってきた。また、工作機械の仕事も受注できている状況。
	C	需要は好調だが、足元トラック、ダンプ関連が東南アジアコロナ感染拡大の影響による部品調達の供給が滞っており、生産ラインの影響の兆しが出てきている。今後の動向に注視する必要あり。足元の稼働は上場も、昨年からのコロナの影響で取引先の決算状況は悪化しているところも数件見られる。
東京	A	価格は昨年末のボトムからキロ50~60円の上昇に得意先である製造業者は転嫁できず対応に苦慮している。合わせて仕事量の減少で不採算は加速している。
	B	(店売り関連)メーカーからの納期が非常に遅れており、歯抜けが多くなってきた。(需要家関連)メインの産機メーカーも好調を維持。
	C	価格転嫁が十全に行えず、利幅確保が依然として厳しい状態である。外国産が入手困難な中、やむなくムキ材を買い付けるなど対応を苦慮している。
	D	8月は例年通り、数量、金額ともに下落した。安かった在庫をやや上昇した切板価格で捌けた分、利益は昨年より出た感じ。9月以降の厚板は少なくとも年末まで玉不足である。全体的な需要の回復は思ったほどではない場合も想定している。

東京	E	高炉メーカーの申込カットは継続しており、下期も3割カットされた。よって新規拡販している余裕なく、既存取引先への販売量を少しずつ削っていくことになる。値上げも弱い店売り向けは上がられても、ひも付き（需要家向け）は、抵抗強く、店売りの半分の上げ幅でその先をなかなか認めてくれない。高炉メーカーがもっと強く、ひも付きの値上げを推し進めてくれればいいのだが。
	F	薄板3品在庫に対する高炉メーカーの対応は、引き続き強硬で、更なる値上げと契約量のカットが行われている。一部のひも付きで減産の噂もあるが、仮にそうであったとしても、その分を店売り向けに出荷して市況を下げるようなことを高炉メーカーがするとは思えない。減産することによって、今までの無駄な経費が削減され、再販価格の上昇によって史上最高益が出ている今の環境を自ら壊すことはないと思う。何より高炉メーカーは生き残りをかけているので、そのような余裕はないと認識を皆が持つべき時期だと思う。
	G	半導体が入らず、遅れが出ている業界が目立つ。
	H	（鉄筋）8月は稼働日が少なく動きも弱く前年並。店売り価格は3桁手前まで来た。9月はある程度の需要はある。
	I	売上数量が前年同月比微減。売上金額が増加したのは販売価格増によるもので利益が付いてこない。需要家が鋼材価格を転嫁できず、10月に1件、廃業を決意した。中小の建設関係業者は仕事がなく苦境に追い込まれている。
静岡	A	8月はコスト増だが約1億円の売上。総じて中身もよい。盆休み等もあり、実稼働日は少ないのに何故か。日々の値上げアナウンス、品薄感の小さな拡散による荷揃えのタイムラグ発生等の影響と思われる。元請に施工日数を削られた又は短縮された等。受払は荷役ドライバーの早出、超勤に顕著に表れた。販売増＝与信チェックとなるが、顧客にも分相応の対応をしている。地域限定で行っている鋼管杭事業に材料手当て供給（物流）等、約2年間、泣かず飛ばずであったが、見積案件、構造検討案件が急増。材料引当て難の現状で、実際の進捗は苦しくないが、既に申し込んでいる海外玉の入船状況によっては、現状の値仕切りが脆弱になる懸念はある。45トン程度のSP-3W使用公共物件について元請への回答値に不信感がある。需給バランスの大きな崩れの実感はない。鉄鋼メーカーの積残値上げの唱え、世界鉄源不足など、コロナ禍に載って画策されているのではないか。チャイナシンδροームの先を踏まないで世界の日本に出来ない気がする。
	B	高炉関連製品（鋼板、リロール品）の値上げが続いているが、ユーザーの製品への転嫁は受入れが厳しく遅れている。与信は今以上の注意が必要となってくる。年度明け以降の設備投資案件への見積りが出始めている。先行きに明るさがあるのはいいが、鋼材価格が見通せないのが不安要因。
石川		産機、建機、工作機械は好調ペース。特に建機の外注業者は残業継続。しかし、薄板の品不足が続いており、自給不安と管理材も不足ぎみに。建築はHTB（ハイテンションボルト）が不足で即納品、中小ファブは工期延長か。RC構造に変更も出てきた。ボルトメーカー側の調達はどうなっているのか不明確である。自動車メーカーのひも付き価格上げは当然であり、役員の不満発言は通常の諸条件とはかなり違ってきていることを知っているのか知らないのか自分本位だけの言い分にしか聞こえない。「三方良し」ではなくなっている。
富山	A	保守的な県民性の割には徐々に前向きな発言や仕事が増える傾向に向かう雰囲気を感じられる。米欧、中国は今後回復に向かい鋼材価格に反映されていくのではないか。足元は6～7割操業も、今後プラスで注文が増えそう。鋼材も一部を除き入手難までには至らない。
	B	暇です。建築物件が少ない。製品単価の上昇に間隔がついていけない。収益は出ているが、在庫益が上がっているだけである。
岐阜		扱いトン数、売上と利益のバランスが以前と変わってきた。少ない材料でどう粗利を稼ぐかが重要となる。値上げの難しさ、下げずに拡販することの大変さを実感する。ユーザーも材料代の割合が多くなってきて親会社への値上げをスムーズに行わないとならない。この時期は与信問題を重視していきたいが。

大阪	メーカーの断続的な値上げに対し、販売価格もキロ2～3円ほどの刻みながら見直しに焦らぬようにと思う日々。加工量は微増。建築関連の仕事に回復の兆しがあるように感じる。同時にメーカーの対応など、供給面でスムーズに品ぞろえができるのか少々不安。
岡山	自動車向けパレット材料が若干出ているようだ。角パイプのサイズがダウンサイジングをして総重量が軽くなっているのか。鋼材屋としては太い材料でしっかり作ってほしい。
北九州	高炉関連品種について、メーカーの鼻息はまだ荒い。電炉品種については、そろそろメーカー販売価格もよい所まできたのではないかと。少なくとも年末までこのような状況が続くと思うので、流通は仕入上昇分の価格転嫁が急務である。
福岡	メーカーの引受調整と納期遅延もあり、契約分の玉は停滞している。また、メーカー値上げによる仕入価格上昇と需給タイトで更に価格転嫁が必要な状況。